

科目名	子どもの食と栄養Ⅰ			担当教員	本多 恭子	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	ED3CSR118
期待される学修成果	子ども理解 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	乳幼児期の食の特徴、保育者への援助方法を学び、保育者となったときに子ども支援だけではなく食の側面から保護者も支援できるだけの知識を身につけることができる。					
授業の概要	他の健康に関する講義内容とも関連づけながら、子どもの健康とは何かを考え、そのための栄養知識、食生活のあり方について学ぶ。また、食育への実習力を身に付けるため、演習、実習的な内容も多く取り入れていく。 【デジタル技術利用 該当④】					

授業計画		
第1回	子どもの健康と食生活の意義1ー子どもの心身の健康と食生活 事前準備：健康の定義について調べてくる。 事後学修：子どもの健康についてまとめる。	
第2回	子どもの健康と食生活の意義2ー子どもの食生活をめぐる現状 事前準備：子どもの食生活の現状を調べてくる。 事後学修：子どもの食生活のあり方についてまとめる。	
第3回	栄養に関する基本的知識1 事前準備：各栄養素を含む食材を調べる 事後学修：栄養素の役割についてまとめる	
第4回	栄養に関する基本的知識2 事前準備：各栄養素の働きを復習する。 事後学修：各栄養素の役割についてまとめる。	
第5回	栄養に関する基本的知識 3 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでくる。事後学修：栄養素の消化と吸収についてまとめる。	
第6回	献立作成と調理の基本 事前準備：献立作成と調理の基本について資料を熟読する。 事後学修：幼児期の献立作成を行う。	
第7回	子どもの発育・発達と食生活ー妊娠・授乳期の食生活 事前準備：妊娠・授乳期の特徴について調べる。 事後学修：妊娠・授乳期の食生活についてまとめる。	
第8回	子どもの発育・発達と食生活ー乳児期の食生活 1 事前準備：母体の栄養管理、乳汁栄養の方法について調べる。 事後学修：乳児期の栄養法とその特徴についてまとめる。	
第9回	子どもの発育・発達と食生活ー乳児期の食生活 2 事前準備：離乳食の進め方について教科書を読んでくる。 事後学修：離乳食の役割と進め方についてまとめる。	
第10回	子どもの味覚と嗜好 事前準備：子どもの味覚と嗜好について調べる。 事後学修：授業後の気づきについてまとめる。	
第11回	子どもの発育・発達と食生活ー幼児期の食生活 1 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでくる。 事後学修：幼児期の身体発育と食生活の特徴についてまとめる。	
第12回	子どもの発育・発達と食生活ー幼児期の食生活 2 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでくる。 事後学修：幼児期の食行動問題に対する対応についてまとめる。	
第13回	子どもの発育・発達と食生活ー学童期・思春期の食生活 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでくる。事後学修：学童期・思春期の食生活と栄養についてまとめる。	
第14回	生涯発達と食生活 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでくる。 事後学修：食事摂取基準の役割や食生活指針の内容についてまとめる。	
第15回	まとめ 事前準備：授業内に指示された教科書の内容について熟読しておく。 事後学修：理解できなかった内容については各自で補強を行う。	

事前学修	0.5時間	授業内容について教科書の該当する箇所や資料を事前に読んでおく。
事後学修	0.5時間	乳児期、幼児期、学童期、思春期の身体発育と食生活について、その特徴と年代別における違いについてまとめる。
フィードバックの方法	レポート等を授業内に返却し、個別にコメントする他、総合評価を説明する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない
レポート		40%	課題の内容が整理され、内容が的確であるかを評価する。
上記以外の試験・平常点評価		60%	授業で学んだ内容が的確に記述されているかを評価する。授業態度や意欲。
補足事項	授業では通常の講義に加え、演習的内容を多く取り入れていく予定です。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
子どもの食と栄養 演習ブック	大江敏江、小林久美他	ミネルヴァ書房	978-4-623-09065-5	なし
参考資料				

科目名	子どもの食と栄養Ⅱ			担当教員	本多 恭子	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	ED4CSR119
期待される学修成果	子ども理解 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	乳幼児の食の意義、特に発達観・将来にわたる心身の健康観、そして何よりも豊かな人間関係形成観から保育者の関わり方、保育所の食支援のあり方について具体的事例を踏まえながら学びを深める。また、子どもだけではなく保護者に対しても食支援ができる能力を身に付けることができる。					
授業の概要	子どもの食と栄養Ⅰで学んだ内容について再度復習した後、具体的事例等を通じて食支援のあり方を学ぶ。また、実際に離乳食や幼児食、行事食を作ることを通じて食の大切さ、保護者の役割について考えを深める。特に、乳幼児期の子どものに適した食事は何かについて、実践的内容を通じて学び、保育現場で生かせる資質を身に付ける。 【デジタル技術利用 該当番号：④】					

授業計画	
第1回	子どもの食と栄養Ⅰの復習と補足 1 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでくる。 事後学修：授業後の気づきをまとめる。
第2回	子どもの食と栄養Ⅰの復習と補足 2 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでくる。事後学修：授業後の気づきをまとめる。
第3回	食育の基本と内容 1 食育における養護と教育の一体性 事前準備：「食育とは」何か考える。 事後学修：「食べる力」を育てる活動についてまとめる。
第4回	食育の基本と内容 2 食育の内容と計画 食育のための環境 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでおく。 事後学修：授業後の気づきについてまとめる。
第5回	食育の基本と内容 3 食育を通じた家庭や地域の支援 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでおく。 事後学修：食育を通じた保護者支援についてまとめる。
第6回	家庭や児童福祉施設における食事と栄養 事前準備：家庭や児童福祉施設における食生活の問題について調べる。 事後学修：家庭や児童福祉施設における食育のポイントをまとめる。
第7回	疾病および体調不良の子どもへの対応 事前準備：教科書の該当する箇所について読んでおく。 事後学修：体調不良の子どもへの対応方法をまとめる。
第8回	食物アレルギーのある子どもへの対応 1 事前準備：教科書の該当する箇所について読んでおく。 事後学修：食物アレルギーのある子どもへの対応方法をまとめる。
第9回	食物アレルギーのある子どもへの対応 2 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでおく。 事後学修：保育所におけるアレルギー対応についてまとめる。
第10回	慢性疾患のある子どもへの対応 事前準備：教科書の該当する箇所を読んでおく。事後学修：慢性疾患のある子どもへの対応方法についてまとめる。
第11回	離乳食の調理 事前準備：「離乳食の進め方の目安」について復習をする。事後学修：授業内に指示された課題についてまとめる。
第12回	間食の調理 事前準備：間食の与え方について考える。事後学修：授業内に指示された課題についてまとめる。
第13回	幼児食の調理 事前準備：幼児食のあり方について考える。 事後学修：授業内に指示された課題についてまとめる。
第14回	幼児食の調理（行事食） 事前準備：行事食とその意義について調べる。 事後学修：授業内に指示された課題についてまとめる。
第15回	まとめ 事前準備：これまでの授業内容の復習を行い、重要事項を確認する。 事後学修：子どもの食と栄養に関する今後の課題と克服方法を考察する。

事前学修	0.5時間	授業内容について教科書の該当する箇所や資料を読み、内容を理解しておく。
事後学修	0.5時間	調理実習及び食育活動を実践して、気づいた点、改善点について考察する。
フィードバックの方法	レポート等を授業内に返却し、個別にコメントをする他、総合評価を説明する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない
レポート		50%	課題の内容が整理され、内容が的確であるかを評価する。
上記以外の試験・平常点評価		50%	授業態度や意欲等を評価する。
補足事項	座学に加え、多くの演習を取り入れ、調理実習も予定しています（調理実習は材料費を集めます）。また、状況により授業内容を入れ替えて実施する場合があります。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
子どもの食と栄養演習ブック	大江敏江、小林久美他	ミネルヴァ書房	978-4-623-09065-5	子ども食と栄養Ⅰと同じ教科書です。
参考資料				